スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和7年度

# 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

## 地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

# 岡山県美作市


自 治 体 名 ： 岡山県美作市
担 当 課 名 ： 美作市教育委員会学校教育課
電 話 番 号 ： 0868-72-1162

# 1.自治体の基本情報

スポーツ庁

## 基本情報

| | |
|---|---|
| 面積 | 429.2k㎡ |
| 人口 | 24,882人 |
| 公立中学校数 | 5校 |
| 公立中学校生徒数 | 518人 |
| 部活動数（運動部活動のみ） | 18部活 |
| 地域クラブ活動数 | 2クラブ |
| 市区町村の協議会・検討会議等の設置状況 | 設置済 |
| 市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況 | 策定済 |

## 地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

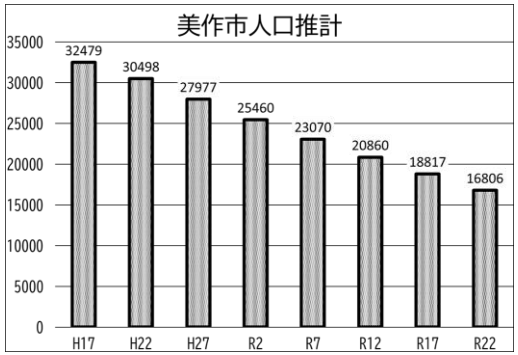
市内各地域のスポーツ活動は、人口減少・少子化の影響による参加者の減少に伴い統廃合や廃止されたものが多くある。

また、子どもたちの健やかな成長に大きな役割を果たしてきた学校部活動であるが、生徒数の減少等によるやむを得ない廃部や、単独で試合に出られない学校が大幅に増えるなど、今後子どもたちの活動の選択肢がさらに少なくなることが危惧される状況である。

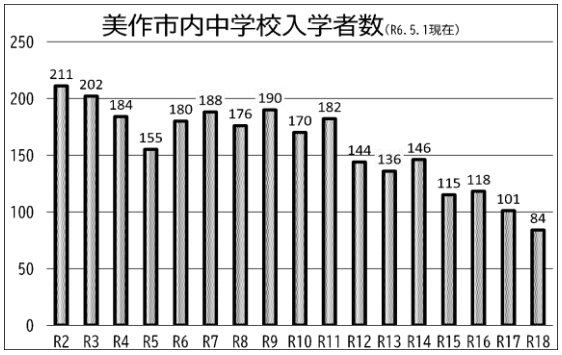
令和5年度より美作市中学校部活動の地域連携・地域移行に係る協議会を立ち上げ、子どもの多様な体験の機会を確保するとともに、持続可能な運営を図るための体制整備について、学識経験者、スポーツ・文化芸術活動を担う運営団体、各地域の保護者、教育関係団体など、様々な立場からの意見を集約し、美作市にとってふさわしい地域連携・地域移行の在り方を検討している。

【課題】

1. 運営主体における役割分担と協力体制の構築
2. 人材確保のための教育委員会、スポーツ協会等の団体、地域との連携
3. 実施主体の構築
4. 会費徴収に関する保護者・学校等の理解
5. 高校や市内スポーツ団体との連携




（出典：住民基本台帳、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」）



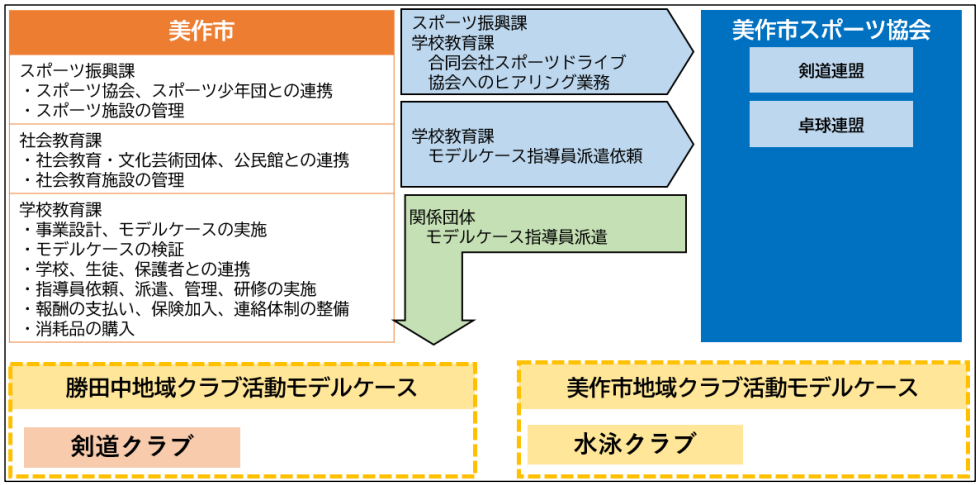

（出典：美作市住民基本台帳より）

# 2.実証内容と成果

スポーツ庁

## 運営体制

### ●市区町村における推進体制図




### ●行政組織内での役割分担

**◉教育委員会（学校教育課・スポーツ振興課・社会教育課）**

・総括事務局、制度設計、提案・調整・連絡、相談窓口

**◉教育委員会（学校教育課）**

・協議会総括　・兼職兼業等　・実施主体のマッチング

**◉教育委員会（スポーツ振興課）**

・市スポーツ協会、市内スポーツ団体等との連絡調整　・指導者、サポーターの募集

**◉教育委員会（社会教育課）**

・市文化連盟、市内文化団体等との連絡調整　・指導者、サポーターの募集

**◉教育委員会（教育総務課）**

・学校施設利用・整備・備品

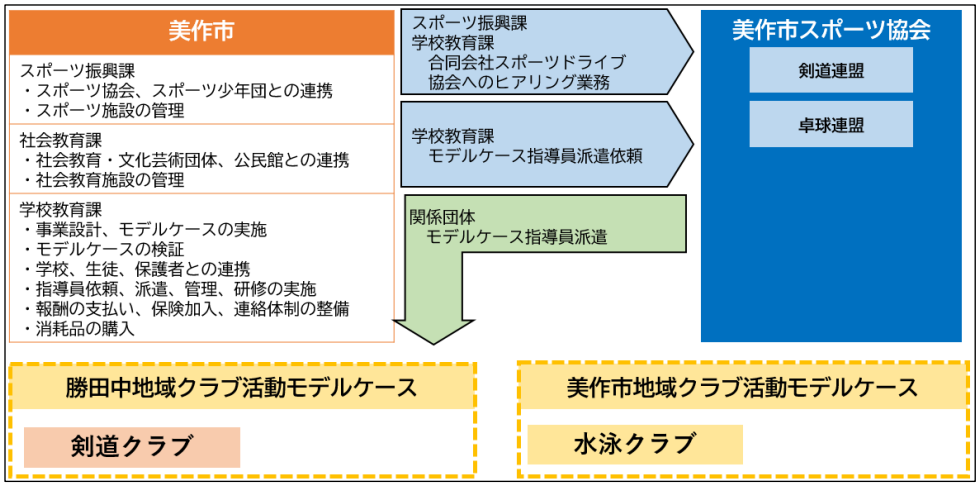
| | |
|---|---|
| 4月 | • 教員、生徒、保護者への説明資料作成<br>• 勝田中モデルケース実施校の教員への説明周知 |
| 5月 | • 勝田中モデルケース実施校の保護者への説明周知<br>• モデルケース指導員の説明、募集<br>• 第1回美作市中学校部活動の地域連携・地域移行に係る協議会準備会 |
| 6月 | • ヒアリング業務委託業者の選定<br>• ヒアリング業務委託業者への見積依頼<br>• 勝田中モデルケース指導員のマッチング<br>• 全校対象モデルケース水泳指導員の募集、説明 |
| 7月 | • 第1回美作市中学校部活動の地域連携・地域移行に係る協議会<br>• ヒアリング業務委託業者の決定<br>• 関係団体へのヒアリング（～令和8年2月10日）<br>• 全校対象モデルケース水泳の周知、参加者募集<br>• 勝田中モデルケース指導員のマッチング<br>• 全校対象モデルケース水泳指導員へのマッチング、依頼及び承諾書提出<br>• 全校対象モデルケース水泳指導員へのコンプライアンス意識を高める研修<br>• 勝田中モデルケース実施校の保護者への説明周知、参加希望調査（31） |
| 8月 | • モデルケース水泳指導者・参加生徒保険加入<br>• モデルケース水泳実施（8月5日、6日、19日、21日、22日）<br>• モデルケース水泳実施状況視察（8月5日、6日、21日）<br>• 勝田中モデルケース実施校の生徒への説明周知、参加希望調査（6）<br>• 勝田中モデルケース参加生徒の取りまとめ、指導員への情報提供<br>• 勝田中モデルケース指導員へのコンプライアンス意識を高める研修 |

# 2.実証内容と成果

スポーツ庁

## 運営体制

### ●市区町村における推進体制図




### ●行政組織内での役割分担

**◉教育委員会（学校教育課・スポーツ振興課・社会教育課）**

・総括事務局、制度設計、提案・調整・連絡、相談窓口

**◉教育委員会（学校教育課）**

・協議会総括　・兼職兼業等　・実施主体のマッチング

**◉教育委員会（スポーツ振興課）**

・市スポーツ協会、市内スポーツ団体等との連絡調整　・指導者、サポーターの募集

**◉教育委員会（社会教育課）**

・市文化連盟、市内文化団体等との連絡調整　・指導者、サポーターの募集

**◉教育委員会（教育総務課）**

・学校施設利用・整備・備品

| | |
|---|---|
| 9月 | • 勝田中モデルケース指導員への依頼及び承諾書の提出<br>• 勝田中モデルケース開始（～令和8年2月10日）<br>• 勝田中モデルケース実施状況視察<br>• 第2回美作市中学校部活動の地域連携・地域移行に係る協議会準備会 |
| 10月 | • 第2回美作市中学校部活動の地域連携・地域移行に係る協議会 |
| 11月 | • 勝田中モデルケース実施状況視察<br>• モデルケース実施状況の把握、成果と課題の整理<br>• 令和8年度予算積算 |
| 12月 | • モデルケースにおける成果と課題の整理<br>• 全面実施に向けた課題の洗い出し<br>• 課題解決に向けた方策の検討<br>• 令和8年度予算要求<br>• 第3回美作市中学校部活動の地域連携・地域移行に係る協議会準備会<br>• 第3回美作市中学校部活動の地域連携・地域移行に係る協議会 |
| 1月 | • 次年度モデルケースの検討<br>• 令和8年度事業計画策定 |
| 2月 | • 令和8年度モデルケース指導者のマッチング<br>• 令和7年度事業完了報告<br>• 令和8年度モデルケース実施計画の作成 |

# 2.実証内容と成果

スポーツ庁

## 地域クラブ活動の運営実績

### ①全体に関すること

| | | | |
|---|---|---|---|
| 実施した地域クラブ活動総数 | | 2クラブ | |
| ケース別地域クラブ活動数 | A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数） | | 1クラブ（1部活動） |
| | B：部活動にはない種目など、新規の地域クラブ活動数 | | 1クラブ |
| 全体の指導者数 | 3人 | 全体の運営スタッフ数 | 1人 |

### ②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

| 地域クラブ活動名 | 運営団体種別 | 種目 | 実施回数（平日・休日） | 実施時間帯 | 参加者（学年別） | 実施期間 | 指導者数 | 運営スタッフ数（他クラブと兼務） | 会費 | 大会参加方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 美作市水泳クラブ | 美作市教育委員会 | 水泳 | 平日　5回 | 10:00～11:45 | 3年:1人<br>2年:2人<br>1年:3人 | 令和7年8月5日～令和7年8月22日 | 2人 | 1人（兼務なし） | 無料 | なし |
| 勝田中剣道クラブ | 美作市教育委員会 | 剣道 | 平日　1回<br>休日　1回 | 16:00～17:00<br>9:30～11:30 | 2年:4人<br>1年:1人 | 令和7年9月1日～令和8年2月10日 | 1人 | 1人（兼務なし） | 無料 | 中体連：部活動 |

# 2.実証内容と成果

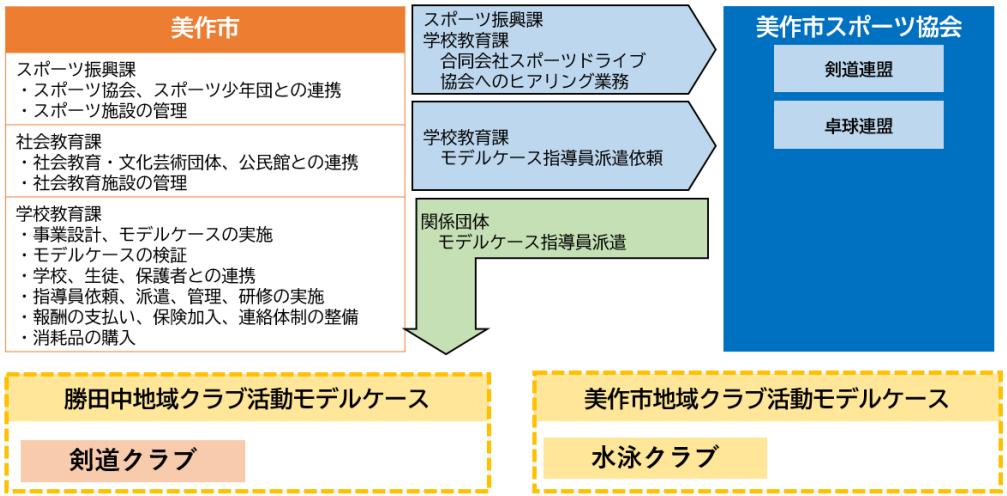
スポーツ庁

## 主な取組例

### ●美作市地域クラブ　活動概要

| | |
|---|---|
| 地域クラブ活動で実施した種目 | 水泳、剣道 |
| 運営団体名 | 美作市教育委員会学校教育課 |
| 期間と日数 | 水泳：8月5日～8月22日：5回程度<br>剣道：9月1日～2月10日<br>毎週金、土曜日：月8回程度 |
| 指導者の主な属性 | スポ少指導者、元教員 |
| 活動場所 | 作東B&G海洋センター<br>美作市立勝田中学校 |
| 主な移動手段 | 保護者送迎、徒歩、自転車 |
| 1人あたりの参加会費等（年額） | 無料 |
| 1人あたりの保険料 | 水泳：傷害保険<br>・指導者・生徒1日1人あたり：24円<br>剣道：スポーツ安全保険<br>・生徒1人あたり：800円/年<br>・指導者1人あたり：1,850円/年 |

### ●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図




### ●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●自治体、統括責任者

役割：活動場所の確保
教員、生徒、保護者への説明・周知
モデルケース指導員の説明、募集、マッチング、事務手続き
全校対象モデルケース水泳指導員へのコンプライアンス意識を高める研修
参加生徒リスト作成・傷害保険加入手続き

●主任指導者　2名

役割：活動計画の作成、参加者への周知
指導及び安全管理

# 2.実証内容と成果



スポーツ庁

## 取組内容

### ●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

#### 取組事項

美作市クラブ活動のガバナンス組織として、一般社団法人美作市スポーツ文化協会を設置するため、美作市スポーツ協会に協力を仰ぎ、関係団体に対してヒアリングを行うとともに、部活動地域展開について理解を求めるための研修会を開催した。
ガバナンス組織を設置するに当たり、どのような体制が美作市にふさわしいかについて、専門家の助言と関係団体のヒアリングの結果をもとに協議会において検討する。
総括コーディネーターやコーディネーターの人選及び配置を検討する。

#### 今後の取組における課題

地域クラブ活動の運営主体と実施主体をどのように位置付けるか、継続して検討が必要である。
美作市スポーツ協会とその関係団体へのヒアリングや部活動地域展開についての研修会を開催し、関係者の理解は深まったが、美作市として地域クラブ活動の運営主体と実施主体をどのように位置付けていくかについて、さらに議論を深め、その在り方について検討を継続する必要がある。
総括コーディネーターやコーディネーターの人選及び配置を検討する必要がある。

#### 取組の成果

美作市スポーツ協会とその関係団体に対してヒアリングと、部活動地域展開についての研修会を開催し、半数以上の関係者から部活動地域展開の取組を推進していくことに理解を示していただき、関係者の理解が深まった。
美作市スポーツ協会との協議の結果、運営主体の在り方について、継続して検討を進めることとなった。
総括コーディネーターやコーディネーターの人選及び配置は市内の地域人材に適任者がおらず、配置に至らなかった。

#### 課題への対応方針

今後の地域クラブ活動の円滑な移行に向けて、まずは他市が実施している具体的な取組について情報収集を徹底する。その上で、地域クラブ活動の運営に見識のある有識者をアドバイザーとして招き、専門的な知見から助言をいただくことで、運営主体と実施主体がそれぞれどのような形で関わっていくべきか、その最適な在り方を模索し検討を重ねていく。また、この取り組みを地域に根ざしたものにするため、美作市スポーツ協会をはじめとした地元の関係団体と連携・協力を図りながら、総括コーディネーターや、コーディネーターの人選を進めていく方針である。

# 2.実証内容と成果



## 取組内容

### ●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**地域クラブ活動の運営効率化に向けた取組**

地域クラブへの登録にフォームを活用し、デジタル化を図った。

**運営団体・実施主体の安全性確保に向けた取組**

今年度、運営団体・実施主体を美作市教育委員会学校教育課が担った。
安全性を確保するため、市教育委員会担当者から指導者に対して緊急時の対応の確認を行った。
「スポーツ団体ガバナンスコード〈一般スポーツ団体向け〉」に準拠した運営体制の研究。
法令等に基づく事業運営のため、実施要項を策定した。
公正かつ適切な会計処理のために、部局会計課から指導助言を受け、会計処理を実施した。

**地域クラブ活動におけるトラブル・事故発生時の対応方針**

活動中の生徒同士のトラブルや事故等の対応を含め管理責任の主体は運営及び実施主体である美作市教育委員会である。
事故等が発生した際のマニュアルを指導者と共有した。




**【美作市地域クラブ活動（水泳）】**

# 2.実証内容と成果



スポーツ庁

## 取組内容

### ●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

#### 取組事項

指導者の量の確保については、市スポーツ協会の協力を得て指導者リストを作成した。
指導者に対して、どのような条件のもと指導者として参画できるか、アンケート調査を行った。
美作市地域クラブ活動モデルケースで実施する種目の指導者に協力を依頼し、実施する曜日・時間・場所等の調整を行った。
指導者の量の確保に重点を置いたため、今年度は指導者の質を高める取組は実施できなかった。

#### 今後の取組における課題

現状、平日および休日のいずれの期間においても、地域クラブ活動を支える指導者の人員確保が不十分な状況にある。指導者としての安全面や技術面のクオリティを維持しつつ、現場の需要を満たすだけの「指導者の量」を確保していけるかが今後の大きな課題である。しかしながら、個々の競技特性に応じて専門性を培うための効果的な研修会を企画・実施することは、本市単独による取組としては困難である。

#### 取組の成果

地域クラブ活動に参加した中学生19人を対象としたアンケートの結果、回答者の全員から肯定的な回答が得られ、参加者にとって満足感が得られる活動となった。
モデルケースを実施した学校では、クラブ活動が新設されたことによって、同種目の部活動の日数を3～6割程度削減し、教員の時間外勤務が平均30分削減し、教員の働き方改革に資するものとなった。
部活動にない種目をクラブ活動として実施しようとしたが、参加希望者が無いため実施できなかった。

#### 課題への対応方針

市スポーツ協会等の関係団体からの協力を得ながら、各指導者が平日・休日それぞれについて参画可否や、実際に活動へ参画できる具体的な時間帯等の詳細情報を追記した、実効性のある「指導者・サポーターリスト」の作成を進める。また、指導者の指導力向上や資質向上を図るため、岡山県が主催する各種研修会への積極的な参加を奨励していく方針である。

# 2.実証内容と成果



スポーツ庁

## 取組内容

### ●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

#### 多様な人材の発掘・配置に向けた取組

指導者の量の確保については、市スポーツ協会の協力を得て指導者リストを作成した。
指導者に対して、どのような条件のもと指導者として参画できるか、アンケート調査を行った。

#### 指導者研修の内容

| | |
|---|---|
| **研修名** | スポーツ指導におけるコンプライアンス研修 |
| **講師** | 美作市教育委員会学校教育課職員 |
| **研修内容** | 生徒と指導者が適切な距離を保つことができるように各学校の校内ルールを確認する。<br>生徒と指導者という関係性を越えたり、個人的な感情によって特定の生徒を特別扱いしたりしないこと。<br>校内ルールを遵守して行動することは、生徒を守ると同時に、指導者自身を守ることにもつながること。 |

#### 指導者研修受講者の声

**参加者①**
指導者自身の健康が第一であると感じた。ゆとりをもって生徒と接することも大切である。学校との情報共有も大切であるが、先生方が多忙にしているため、時間を確保することが難しい。指導者から声掛けをするなど、工夫が必要だと感じている。

#### 指導者の資格取得促進に向けた取組

指導者の資格取得促進に向けた取組は実施していない。

| | |
|---|---|
| 指導者総数 | 1人 |
| 資格所持指導者数 | 1人 |
| 本年度資格を取得した指導者 | 0人 |

#### 平日・休日の一貫指導に関する取組

活動記録簿による情報共有

# 2.実証内容と成果



スポーツ庁

## 取組内容

### ●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

#### 取組事項

美作市の学校教育課、スポーツ振興課、社会教育課の3課の協働により、関係団体との連携強化が進んだ。
美作市クラブ活動の運営主体・実施主体の在り方について、美作市スポーツ協会に協力を仰ぎ、関係団体に対してヒアリングを行うとともに、部活動地域展開について理解を求めるための研修会を開催した。（再掲）
さらなる連携強化に向けて、学識経験者、スポーツ・文化芸術活動を担う運営団体、各地域の保護者、教育関係団体などで組織する「美作市中学校部活動の地域連携・地域移行に係る協議会」において課題等の協議を通して、部活動地域展開に対する理解を深め、連携強化に取り組んだ。

#### 今後の取組における課題

美作市地域クラブ活動の運営主体と実施主体をどのように位置付けるか、継続的な検討が必要である。
「美作市中学校部活動の地域連携・地域移行に係る協議会」における議論の活性化が必要である。

#### 取組の成果

美作市スポーツ協会との協議の結果、運営主体の在り方について、継続して検討を進めることとなった。
美作市スポーツ協会の関係団体に対してヒアリングを行うとともに、部活動の地域展開について理解を求めるための研修会を開催したことで、関係者の理解が深まった。
学識経験者、スポーツ・文化芸術活動を担う運営団体、各地域の保護者、教育関係団体などで組織する「美作市中学校部活動の地域連携・地域移行に係る協議会」において課題等の協議を通して、部活動地域展開に対する理解を深め、連携強化を図ることができた。

#### 課題への対応方針

部局と教育委員会が意思疎通を図りながら、美作市スポーツ協会及び関係団体と合意形成を図り、美作市地域クラブ活動の運営主体と実施主体の在り方を検討していく。
「美作市中学校部活動の地域連携・地域移行に係る協議会」における議論を活性化させるため、協議会の持ち方や運営方法を工夫する。

# 2.実証内容と成果



## 取組内容

### ●取組項目名　エ：面的・広域的な取組

#### 取組事項

教員・生徒・保護者への周知活動として、教員対象の説明会、学校での生徒及び保護者への説明会を開催して周知を行った。
市民への周知活動として、ケーブルテレビを活用した周知を行った。
隣接している西粟倉村と本市の大原地区と西粟倉村との連携した広域連携型のクラブ活動の実施について提案があり、定期的に西粟倉村との情報交換会を行った。

#### 今後の取組における課題

クラブ活動の募集段階において、参加を躊躇し悩んでいる生徒が見受けられた一方で、実際に先行して参加した生徒からの声や感想を聞いたことで、新たに参加を希望した生徒がいた。このことからも、生徒に対して募集を周知・案内する際には、単なる条件面だけでなく、実際の活動の様子や雰囲気が一目で伝わるような、視覚的かつ効果的な広報活動を展開していくことが重要である。
また、持続可能な活動環境を構築するためには、体制整備を推進していくことと並行して、隣接する町村との実務的な連絡調整や意見交換を密に行い、自治体の枠組みを越えた広域的な連携体制を継続していくことが不可欠である

#### 取組の成果

地域の皆様へ広く周知を行うため、市のケーブルテレビ局の協力をいただき、周知用番組を制作した。完成した番組は同ケーブルテレビ内において放映され、情報発信を行うことができた。また、本市の大原地区に隣接する西粟倉村より、大原地区と西粟倉村が連携した「広域連携型」のクラブ活動に関する提案をいただいたことで、中山間地域における生徒のクラブ活動の受け皿を確保できる可能性が広がった。

#### 課題への対応方針

三県境（岡山県、兵庫県、鳥取県）広域連携型クラブ活動におけるサッカークラブの設置に向けて、佐用町、智頭町、美作市大原地区、西粟倉村4地域で設立に向けた協議を進める。
「いつでも参加でき、いつでもやめられる」「複数種目・掛け持ち可能」といった、従来の部活動の「必須」「強制」「縛り」のイメージを払拭する柔軟性を前面に出したPRが不可欠である。
子ども、指導者、保護者すべてに対し、従来の部活動的な先入観を取り除く必要がある。
紙媒体だけでなく、SNSや学校タブレット、みまちゃんネルなど、視覚的に雰囲気が伝わる媒体を活用する。

# 2.実証内容と成果



スポーツ庁

## 取組内容

### ●取組項目名　エ：面的・広域的な取組

**市区町村等を越えた取組**

〇西粟倉村との定期的な情報共有（計3回実施）

隣接する西粟倉村との間において、定期的な情報共有の場を設けており、これまでに計3回にわたる意見交換や進捗状況の確認を実施した。

→広域連携型サッカークラブ設立の提案

岡山県、兵庫県、鳥取県の3つの県境をまたぐ広域連携型のクラブ活動として、新たにサッカークラブを設立する旨の具体的な提案が、西粟倉村側からなされた。

→対象となる4つの地域

本取組は、互いに隣接し合う佐用町、智頭町、美作市大原地区、および西粟倉村の計4地域に在住する子どもたちを対象とした、広域的な地域クラブ活動を想定している。

→コーディネーターによる連絡調整

具体的な運営にあたっては、西粟倉村の担当者が全体のコーディネーターとしての役割を主導的に担い、関係する各隣接市町村との密な連絡や調整業務を進めている。中学校および生徒への周知と参加促進さらに、市内の隣接する中学校やその在校生に対して、本取組に関する周知活動を展開しており、地域の生徒に参加を促すための働きかけを行っている状況である。

# 2.実証内容と成果



## 取組内容

### ●取組項目名　オ：内容の充実

#### 取組事項

生徒一人一人の志向や体力等の状況に適したスポーツに親しむ機会の創出と、活動内容の充実化を図るため、教職員および児童・生徒を対象としたアンケート調査を実施した。本調査の実施により、現在のニーズや課題を把握・分析した。これらを踏まえ、スポーツ活動と文化活動の両方に柔軟に参加・体験ができる新たな地域スポーツクラブ活動のモデル事業を立案した。具体的には、水泳、剣道、柔道、卓球、野球のスポーツ5種目に加え、文化枠として芸術を取り入れた合計6活動をモデルとして位置づけて計画した。このように、単一の種目に縛られることなく、生徒が複数の活動に柔軟に参画できる機会を提供する。

#### 取組の成果

生徒の希望と指導者の確保の関係から実施種目は、水泳、剣道であった。
教職員へのアンケート結果は次のとおりである。

- 教員の負担軽減
「顧問の負担が軽減されること」への期待が最も多く、「休日の部　活動指導からの解放」「残業時間の削減」といった声が上がった。

- 生徒の選択肢拡大
「指導できる専門家が増える」「多様な種目から選べるようになる」など、生徒がより専門的な指導を受けられることや、活動の選択肢が広がることに期待が寄せられている。

- 指導の質の向上
地域人材や外部指導者の活用により、「専門性の高い指導が受けられる」「指導の均質化が図られる」といった効果も期待されている。

#### 今後の取組における課題

- 生徒の安全管理
行き帰り、活動中の怪我を懸念。「事故時の責任の所在」の課題。
- 地域人材の確保と質
「指導者の確保が困難」「指導者の質のばらつき」といった、活動を担う人材に関する懸念。
- 運営体制
「運営費の捻出方法」「参加費の負担」「施設や用具の確保」などの運営体制に関する不安が顕著であった。
- 教員と地域クラブの連携
「生徒の情報共有が難しくなる」「顧問としての役割が曖昧になる」など、教員と地域クラブ間の連携や役割分担の課題。

#### 課題への対応方針

教職員アンケート結果の課題を協議会等の場で対応策を検討する。

# 2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
**カ：参加費用負担の支援等**
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

## 取組内容

### ●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等

#### 取組事項

- 受益者負担の原則に基づく適切な参加費徴収
- 地域クラブ活動の持続可能な運営に資する自主財源の確保に向け、運営資金の確保手段、公的資金と受益者負担の枠組みの検討
- 経済的困窮世帯への支援の枠組みの検討
  市内の部活動とクラブ活動が併設されるため、地域格差を生まないよう令和7年度は参加費を徴収しない。
  経済的困窮世帯への支援の枠組みについては、生活保護世帯または就学援助費受給世帯については減免とする方向で研究していく。

#### 課題への対応方針

近隣他市の取組を参考として、参加費負担の在り方を検討していく。

# 2.実証内容と成果



スポーツ庁

## 取組内容

### ●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等

**収支バランス**

- 受益者負担の原則に基づく適切な参加費徴収
- 地域クラブ活動の持続可能な運営に資する自主財源の確保に向け、運営資金の確保手段、公的資金と受益者負担の枠組みの検討
- 経済的困窮世帯への支援の枠組みの検討
  市内の部活動とクラブ活動が併設されるため、地域格差を生まないよう令和7年度は参加費を徴収しない方向性である。
  経済的困窮世帯への支援の枠組みについては、生活保護世帯または就学援助費受給世帯については減免とする方向で研究していく。

### ●取組項目名　キ：学校施設の活用等

**学校施設利用上の負担軽減に向けた取組**

学校施設の一般開放の際のルールを準用した。
キーボックスによる鍵の返却

**用具使用・管理等における取組**

用具等の保管スペースの確保

# 2.実証内容と成果



スポーツ庁

## 取組内容

### ●取組項目名　ク：その他の取組

#### 取組事項

- 活動場所までの生徒の輸送手段の検討

拠点型やALL型の活動では、生徒の移動距離が10kmを超えることが想定される。生徒の輸送手段について保護者送迎以外に有効な手段がないか研究する。

#### 今後の取組における課題

生徒輸送に係る経費の補助の在り方をどのようにしていくか。

#### 取組の成果

スクールバスの活用等を検討したが、必要経費が多額のため、保護者送迎に頼らざるを得ない状況である。

#### 課題への対応方針

スクールバスによる対応は財政面で困難なため、公共交通機関を活用した生徒輸送に対して補助を行うか検討していく。

# 2.実証内容と成果①

スポーツ庁

## 総括・成果の評価・今後に向けて

### ●総括

地域スポーツクラブ活動を2種目であるが、実施できたことは、運営主体や実施主体の在り方、国の方針との整合性、クラブ活動の運営に係る具体的な事務処理内容の把握など、取組によって見えてくる課題が発見できたことが最大の成果である。

美作市教育委員会学校教育課を中心とした取組から、市の機構改革もあり、スポーツ振興課、社会教育課との連携が強固となり、3課の協働による実施体制が構築できたことも大きな成果である。

美作市スポーツ協会と関係団体に対して、研修会を開催し、地域クラブ活動の取組に理解を示していただき、関係者の理解が深まった。

部活動地域展開の知見を持つ県の部活動地域移行アドバイザーを招聘し、研修会や協議会で他市町村の動向や先進事例の情報を示していただくことで、関係者の理解が深まった。

西粟倉村からの本市の大原地区と西粟倉村との連携した広域連携型のクラブ活動の提案があり、中山間地域の生徒のクラブ活動の受け皿が確保できる可能性が広がった。

### ●成果の評価

達成目標

1. 1中学校区にモデルケースによる地域クラブを設置
   →2クラブを設置、1クラブが中学校区に閉じた活動となったため、市内全体を対象とした体験会を計画することが必要である。
2. 市内における受け皿作りのための協議会の設置及び継続的な協議の実施
   →協議会を3回実施。関係団体の研修会を1回実施。
3. クラブ活動の中学生参加数を令和6年度比120%増
   →参加生徒数は、前年比と同様の数値となった。取組の周知を図り、参加者を増やしていく。
4. 地域クラブ指導者を確保するとともに、平日及び休日の安定的な指導体制を確立
   →指導者の確保は1割に満たない状況である。スポーツ協会の協力を得ながら、指導者・サポーターとなる人材のリスト化に取り組む。

### ●今後に向けて

他市の取組を情報収集し、美作市の実情に合った取組を検討していく。次に示す内容を重点事項として、検討を進める。

- 市内全域を対象とした地域スポーツクラブ体験会を実施する。
  （剣道、ソフトテニス、水泳）
- 美作市として地域クラブ活動の運営主体と実施主体をどのように位置付けていくかについて、さらに議論を深め、その在り方について検討していく。
- 認定地域クラブ活動を実施していくための制度設計について研究し、美作市の実情に即した制度を策定していく。
- 生徒輸送については、公共交通機関の利用も含め検討していく。

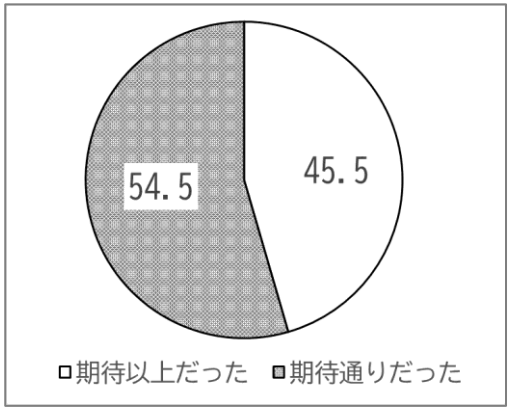
# 2.実証内容と成果②

スポーツ庁

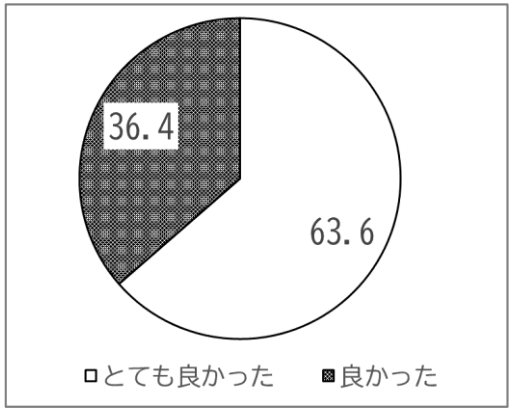
## アンケート結果・参加者/関係者の声

### ●アンケート結果（単位%）

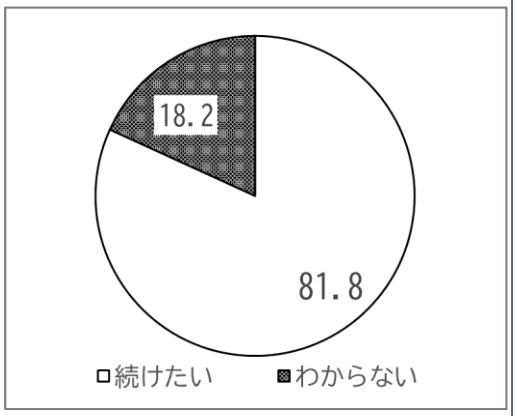
Q.クラブ活動の内容は、あなたの期待と比べてどうでしたか?



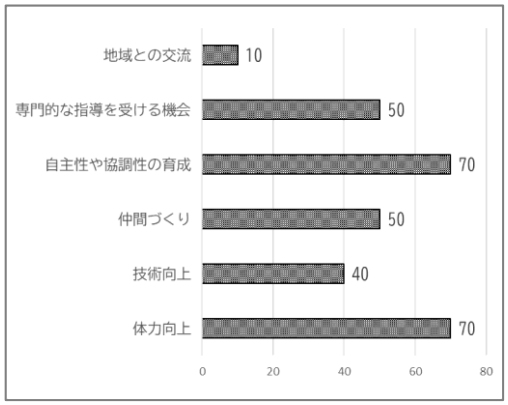

Q.指導者の教え方や接し方についてどう感じましたか?



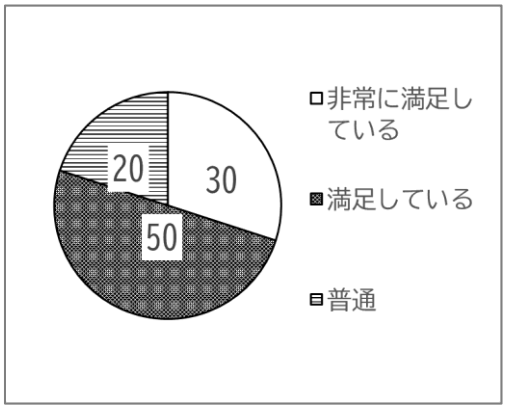

Q.今後もこのクラブ活動があれば、続けたいですか?



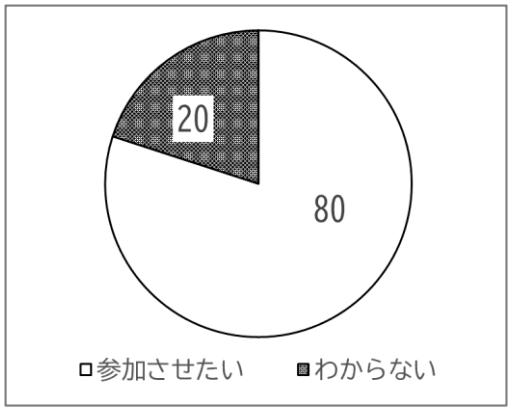

Q.クラブ活動に参加するにあたり、保護者として期待していたことは何ですか?




Q.クラブ活動について、家庭での会話等を通じてどのように感じられましたか?




Q.地域クラブ活動が本格的に実施された場合、お子様を参加させたいですか?




### ●参加者/関係者の声

**参加者①**

先輩がやさしく教えてくれた。10分間泳がしんどかったけど、頑張って泳ぐことができてうれしかった。

**参加者②**

市内の他の学校の方と試合練習ができたことが、印象に残った。

**保護者①**

今まで無かった水泳クラブの案内があり、とてもありがたかった。専門的な指導者から学べ、泳力がつき子どもにとって良い経験ができた。遊びも取り入れてくれて、生徒同士の交流にもなった。子ども達の体力作りや、やってみたい！を経験できるように、学区を越えてクラブに参加できると良いと思う。場所や指導者の確保など、子ども達のために解決していけるといいと思う。

# 2.実証内容と成果③

スポーツ庁

## 参考資料



【美作市地域クラブ活動（水泳）：アイスブレイク】




【美作市地域クラブ活動（水泳）泳法指導】



【勝田中学校地域クラブ活動（剣道）活動場面】



【勝田中学校地域クラブ活動（剣道）活動場面】

# 2.実証内容と成果

スポーツ庁

## 地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

| 令和5年 | 令和6年 | 令和7年 | | |
|---|---|---|---|---|
| 協議会設置、検討開始 | 受け皿団体や指導者の選定 | 学校現場との調整 | 生徒、保護者への説明 | 地域クラブ活動モデルケースの開始 |

**●ステークホルダー**
- ・学校教育課
- ・スポーツ振興課
- ・社会教育課
- ・協議会委員

**●経過**
- ・協議会委員の選定
- ・準備会の実施
- ・教員、生徒アンケート
- ・関係団体へのヒアリング
- ・協議会開催

**●実施にあたって生じた課題**
- ・関係団体の協力体制の構築
- ・市教委内の取組の役割分担

**●実施内容、工夫した点　等**
- ・協議会委員の選定
- ・準備会の実施
- ・教員、生徒アンケート
- ・関係団体へのヒアリング

**●ステークホルダー**
- ・市スポーツ協会
- ・スポーツ少年団
- ・協会所属の競技団体
- ・校長会、教職員

**●経過**
- ・協議会委員の選定
- ・準備会の実施
- ・協議会（年3回）
- ・校長会への説明

**●実施にあたって生じた課題**
- ・関係団体の協力体制の構築
- ・受け皿団体の不足
- ・市教委内の取組の役割分担

**●実施内容、工夫した点　等**
- ・協議会で活発な意見がでるよう、グループでの協議を行う。
- ・市関係課の準備会

**●ステークホルダー**
- ・市スポーツ協会
- ・生徒
- ・保護者
- ・クラブ活動指導者

**●経過**
- ・運営主体、実施主体の検討
- ・市スポーツ協会への説明
- ・市スポーツ協会会員の研修会
- ・クラブ活動モデルケースの指導者への依頼

**●実施にあたって生じた課題**
- ・受け皿団体の不足
- ・関係団体の協力体制の構築
- ・市教委内の取組の役割分担

**●実施内容、工夫した点　等**
- ・モデルケースの実施により先行事例を作り、横展開していく。

**●ステークホルダー**

クラブ活動指導者
関係競技団体
生徒
保護者

**●経過**
- ・関係競技団体への協力要請
- ・指導者のマッチング
- ・モデルケース視察
- ・モデルケースの成果と課題の検証

**●実施にあたって生じた課題**
- ・コーディネーターの不在
- ・生徒登録、指導者への謝金支払いなどの事務処理

**●実施内容、工夫した点　等**
- ・関係競技団体への説明により協力者を増やす取組

# 2.実証内容と成果

スポーツ庁

## 地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和8・9年 → 令和10年

**地域クラブ活動の拡大** → **学校現場との調整 生徒、保護者への説明** → **地域クラブ活動 新規モデルケースの開始** → **地域クラブ活動運営主体・実施主体の整備** → **地域クラブ活動 全面実施**

**●ステークホルダー**
- ・クラブ活動指導者
- ・関係競技団体
- ・スポーツ少年団

**●経過**
- ・関係競技団体への協力要請
- ・指導者のマッチング

**●実施にあたって生じた課題**
- ・コーディネーターの委嘱
- ・生徒登録、指導者への謝金支払いなどの事務処理

**●実施内容、工夫した点　等**
- ・指導者への依頼
- ・指導者との調整
- ・使用施設の申請等

**●ステークホルダー**
- ・生徒、保護者
- ・校長会、教職員

**●経過**
- ・校長会、教職員への説明
- ・生徒、保護者への説明
- ・クラブ活動参加希望調査

**●実施にあたって生じた課題**
- ・指導者の確保
- ・受け皿団体の不足
- ・市教委内の取組の役割分担

**●実施内容、工夫した点　等**
- ・校長会、教職員への説明内容の精選
- ・生徒、保護者への説明内容の精選

**●ステークホルダー**
- ・クラブ活動指導者
- ・市スポーツ協会
- ・関係競技団体

**●経過**
- ・運営主体、実施主体の検討
- ・クラブ活動モデルケースの指導者への依頼
- ・モデルケースの成果と課題の検証

**●実施にあたって生じた課題**
- ・指導者の確保
- ・受け皿団体の不足

**●実施内容、工夫した点　等**
- ・モデルケースの実施により先行事例を作り、横展開していく。

# 3.今後の方向性

スポーツ庁

## 地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

